



九条の会・いすみ市

会 発 行 日	報 38号 2025年 1月25日
発 行 人	九条の会・いすみ市 運営委員会



日本は世界中の
核兵器廃絶の先頭に立とう！
*Happy
New Year*

いまこそ 戦争反対！ 憲法九条を語ろう！

昨年は、暗いニュースが多い中で日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞したことは、明るいニュースとして、反響は日本だけでなく全世界に広がりました。そして、戦争や核兵器禁止に関するテレビ放映番組も増えました。

被団協とは広島・長崎における被爆者の核兵器廃絶を求める人たちの団体です。その方々は1945年8月6日・9日に被爆されているのですから、今年は80年目ということです。その年の8月15日にはポツダム宣言を受け入れて、「玉音放送」で国民に敗戦が伝えられたのです。この戦争で亡くなった一般市民には一切補償はされませんでした。

いま、進行中の戦争による被害はどのように補償されることができるのでしょうか？
現在限定された自然災害（地震・台風・豪雨など）についてすら、長年かかってでも復旧できていません。戦争の被害者に対する賠償は途方もない額に上り想定すらされていません。戦争をすると武器が製造販売され軍需産業が栄えます。しかしそれは人殺しのためのものです。他の役には立ちません。他の産業が発達することを阻害し、秘密を作り出し、監視社会へと向かいます。金の支配によるハイテク軍需産業の拡大とそれによる戦争被害により世界中に経済的・精神的貧困が拡大しています。戦争は、莫大なお金を使い、社会を変え、人間を変えます。戦場では相手を殺さなければ自分が殺されるという場面に直面するのです。現代はきれいな戦争、軍事施設に限定した攻撃などという人がいますが、そうではない、一般人の被害という戦争の映像は、多くの犠牲的記者により報道されています。

被団協のノーベル平和賞受賞は核兵器だけではなく、戦争をやめさせようというノーベル賞選考委員会と全世界の世論の力によるもので、そのことを全世界の人々が望んでいるということを示しました。

日本は敗戦を経て、天皇主権の憲法を廃止して、アメリカの憲法草案を受けて新しい憲法を制定しました。新しい憲法は、1946年普通（男女身分資産の区別なく参加できる）選挙を実施して、初めて女性議員もいる国会で圧倒的多数による賛成で制定されたのです。その憲法が平和主義、戦争放棄する九条を制定したことは宝でした。

九条の会は、20年前に憲法の九条を守り生かそうという、9人の方々のアピールへの賛同者によりつくられました。この力によりいまで「憲法の改正」を阻むことができました。

九条の会・いすみ市は10年前に、この地に九条の会の活動を広めようとつくられました。（「九条の会・いすみ市へ参加しましょう」を再確認します）

いま世界で、日本で、戦争のない国が希望との声は高まっています。私たちは自信を持ってそれを語って広げていきましょう。被団協の方々と同様、戦争体験者は減っていますが、世界中の若者こそ平和を望んでいるのです。

多くの方々の参加を呼びかけます。ご一緒にできることをやりましょう。
学習会にぜひご参加を！（裏面に日程表記載）お気軽にご連絡ください。

2025年1月25日

九条の会・いすみ市 運営委員会

新年のつぶやき

昨年は、ピアノ発表会で、ショパンの革命、をなんとか弾き終わりました。少し体調を崩したので、今年は復活に向けて散歩をはじめました。市民農園が続けていますが育つまでは大変。気はせいでも、体は動かずです。

九条の会20年、この会も10年。畑も10年、ピアノも18年なんとか継続です。被団協の方々に励まされてなんとか九条の会を広げたいと思います。

近藤

『戦争のない平和な世界を！』

冬になると寝る前に湯たんぽを布団にしのばせます。そんなある日の新聞に「湯たんぽで暖かく眠る時、ガザでは2人の乳幼児が凍死した」という投稿が載り、心が締め付けられました。19日から6週間の停戦合意で胸をなでおろす間も無く攻撃を続けたイスラエルの残虐非道さを見る思いです。ロシアによるウクライナ侵略では母子、高齢者等、民間人の犠牲が増え続け間もなく3年も経つのに停戦をする状況は今だ見えません。

かつて日本でも、戦争に反対する人々への弾圧や人権が踏みにじられましたが、現代の戦争でも同じように残虐な事が行われどれだけ尊い命が奪われたことでしょう。

そんな中、被団協のノーベル平和賞受賞や核兵器禁止条約の批准国と署名国が各々、74ヶ国と93ヶ国となったとのニュースにひとすじの希望を見ました。

地球の未来と平和な世界、社会を築くために、無駄な軍事費を無くすことが大切だと思います。

阪倉

自由民権運動の歴史『散歩』

(と言っても殆ど自動車で移動) 企画中です!

明治の始めのころ、いすみ市は自由民権運動がとても盛んでした。板垣退助が「選挙で議員を選び議会をつくれ!」と自由党をつくりました。いすみ市では、自由党と言わず、『以文会』(いぶんかい)と言います。

この意味は「武によらず、文を以て会す」というわけですね。今の平和憲法の本質です。“スゴイ”ですよ。

大原駅とパーキングの間に、以文会結成の時の竹屋という旅館があったという碑が立っています。ここを出発点に、九条の会は今年中には自由民権運動などをテーマに市内のディープな歴史散歩をやりたいと思っています。

その他、歌人で弁護士だった矢代東村という人が、治安維持法違反の思想犯を弁護し、自分も同法違反となっていました。この人のこともテーマにしたいと思っています。お楽しみに!

和久

「平和憲法を守ろう」の呼びかけにこたえて、「九条の会・いすみ市」に参加して今年で10年、何とか改憲を阻止して2025年を迎えた。

昨年の総選挙の結果、改憲派が衆院で3分の2の議席を割り、すぐには改憲発議が出来ない状況になった。それでも石破政権は諦めた訳ではなく、私たちもまだまだ頑張らなければならないのだが...

今年で83歳、心臓・腎臓の持病に加え、足腰も弱って何をするにも時間がかかり、しかも長続きしない昨今。

「何をなすべきかではなく、如何になすべきかだ」とは若い頃読んだ小林多喜二の小説に出てくる一文だが、今の小生、「何をなすべきかではなく、何ができるのか」が問題だ。

気持ちがあっても身体がついて行かない、何とか仲間の足手まといにならないようにと思っています。

ユキエ

学習会

2月22日

3月29日

4月26日

土曜日

時間 10:00~12:00

学習会の場所 岬公民館

岬町長者22 電話0470-87-6111

— 2025年の行事予定 —

- ・憲法カフェ・戸外交交流会
- ・映像を観る会

お知らせ

* 新年度運営委員会では以下確認しました。

①役員 再任

代 表 近藤

会 計 雪江

会計監査 山口

②新年度行動など検討

③2024年度会計承認

④新年会費500円 よろしくお願ひします

* 運営委員募集